


教材・支援機器活用実践事例

【興味のある教材や教師とのやりとりの中で、 物を見たり、コミュニケーションを図ったりすることができる指導】

	実施年度	平成30年度	
授業について	教科名等	自立活動	
	単元・題材名	みる・きく・ならす 劇遊び「ねこのぱんやさん」	
	授業における教師のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・お話の場面や話の続きに興味・関心をもてるようにする。 ・パン作りの動作を教師と一緒に活動することで、音や台詞、触れる素材の違いに気づくことができるようにする。 ・教師とのやりとりをとおして、自分の意思を身体の動きや発声などで表出する力を育む。 	
	授業における子どもの目標	<ul style="list-style-type: none"> ・お話の場面や話の続きに興味・関心をもつことができる。 ・パン作りの動作を教師と一緒に活動することで、音や台詞、触れる素材の違いに気づくことができる。 ・教師とのやりとりをとおして、「YES」「NO」や自分の気持ちを身体の動きや発声などで表出することができる。 	
子どもについて	学校・学級・学年	特別支援学校・小学部・重複障がい学級	
	対象の障がい	肢体不自由・知的障がい	
	授業形態	少人数一斉指導	
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心の幅が狭い。 ・筋緊張や弛緩などにより身体の動きに困難さがある。 ・注視したり追視したりすることが難しい場合もある。 ・大人とのコミュニケーションが多く、友だちとのかわりは少ない。 	
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居 ・場面に応じた動作と大道具 ・小麦粉入れる大道具 ・卵を入れる大道具 ・チーズを入れる大道具 	<p>【画像】</p> 
	活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居やパネルに注目したり、追視したりすることができるようにする。 ・本人のできる力を活かして、教材を操作することができるようにする。 	
授業における支援 ・教材の配慮事項		<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居やパネルは児童ひとりひとりに合わせて、見やすい位置に提示する。 ・身体の緊張や弛緩している部位に対して、教師が手を添えて支えたり緊張を緩めたりする。 ・身体の可動範囲を見極め、教材を操作しやすいように配置する。 ・教材の変化に合わせて擬声語を重ねることで、言葉にも意識を向ける。 	
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居やパネルに注視したり追視したりするようになった。 ・活動を繰り返すことで、自分から手や指を動かそうとするようになった。 ・大道具から材料に見立てた教材が出てくることに、興味・関心をもったり笑顔になったりするようになった。 	